

R6 採択事業名：プロスポーツによる技術提供及び地域活動事業

採択年月日：令和 6 年 5 月 30 日

1 事業実施者	法人名	株式会社埼玉武蔵ヒートベアーズ
	住 所	埼玉県熊谷市久保島 9 3 9
	代表者	代表取締役 山崎 寿樹
2 事業の名称	プロスポーツによる技術提供及び地域活動事業	
3 地域再生計画の 該当事業	イ 「吉見で学びたい」 を実現する事業 オ 「吉見を知りたい」 を実現する事業	
4 実施期間	令和 6 年 7 月 1 日 から 令和 7 年 3 月 31 日 まで	
5 事業の概算事業費	(1) 概算事業費	22,800,000 円
	(2) 概算事業費のうち必要最低 補助額 ※規模の縮小、自己財源等により事業の実施が 可能となる最低限必要である補助金の目安額。	5,100,000 円
6 事業の内容	第六次吉見町総合振興計画に基づくみんなで安心して暮らせるまち実現のための計画（地域再生計画）における、イ「吉見で学びたい」、オ「吉見を知りたい」を実現する事業を実行するために、埼玉県を地元とする弊社（株式会社埼玉武蔵ヒートベアーズ）のプロスポーツコンテンツを町内に届ける。 事業の内容としては、プロ選手の投げ方教室による生涯スポーツの意欲向上、プロスポーツチームトレーナーによる専門性のある走り方教室や身体の怪我予防に繋がる技術提供、球団チアチームによるダンスの表現の授業での技術提供等を行う。	
7 事業の実施による公益 的な効果	・教育課程において専門家の提供 ・スポーツによる身心の教育及び成長	
8 対象者、人数、規模等	・よしみけやき保育園の園児及び町内小中学校の全児童、生徒を対象	
9 想定スケジュールと内 容	期 間：令和6年7月 から 令和7年3月 まで 内 容：①投げ方・走り方教室 ②ダンス教室 ③プロトレーナーによる怪我防止講習	
10 必要最低補助額で事 業を実施する場合の概 要	必要最低補助金額は、5,000,000 円とする。この場合は、町内保育園、町内全小中学校の各クラスにつき最低1回は、事業内容のいずれかを実施する。	
11 備考		

※採択事業に対する企業版ふるさと納税の検討に当たり、事業内容等についての確認事項がある場合は、吉見町総合政策課政策推進係（TEL 0493-54-5026）までお問合せください。

事業実施概要書

株式会社埼玉武蔵ヒートベアーズ



埼玉武蔵ヒートベアーズとは…

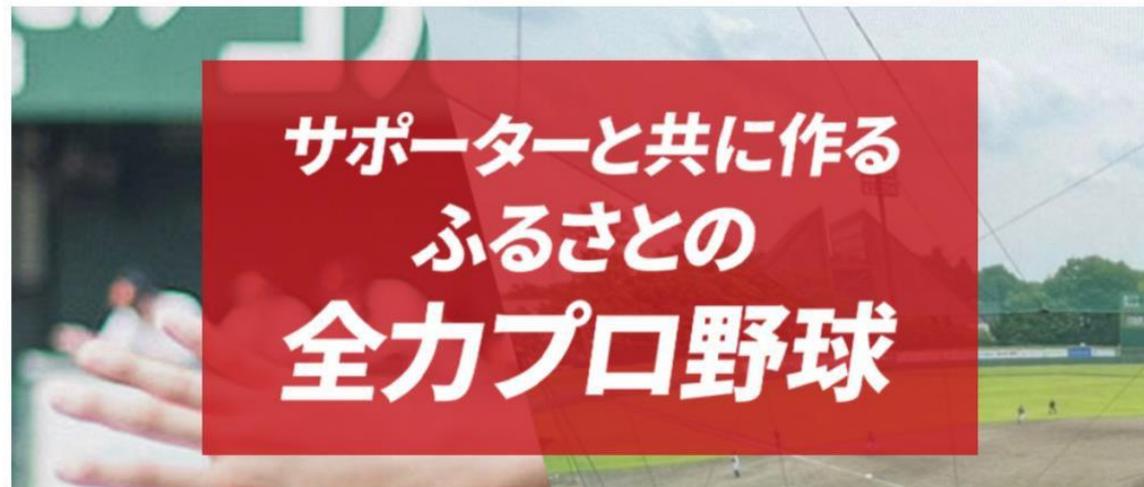


History

BCリーグは、
私たちが少年時代に首都圏の野球場で味わった夢と
興奮の舞台を、生まれ育った地で創造し、
低迷する野球人気を地域から復活させ、
それを全国に広げることによって子供たちに本物の野球の
すばらしさを伝えたいという思いが出発点となって発足しました。

その生まれ育った地域における唯一無二のプロ野球チームを、
地域が一体となって支え、応援する。選手もチームも、
地域に溶け込み、地域の人々から愛され、励まされ、
それを誇りとしてプレーし、
一方、地域の方々もチームを応援することを楽しみとし、
チームを誇りに思う。

BCリーグは、そんな「ふるさとのプロ野球」に共感し応援してく
ださる地域の方々に「夢」と「感動」を与え続けるリーグ運営を
目指します。



Mission statement

ミッションステートメント

ミッション

野球を通じて、地域と共に、地域を豊かに

ビジョン

- 1 「野球」が持つ価値を高め、魅力を伝えます(レガシー)
私達が見せたいのは圧倒的な全力プレーであり、フェアプレーである。
その質を高め、一人でも多くの方に伝わるよう発信していきます。
- 2 スポーツを産業化させ、地域の経済活性化に寄与します(ビジネス)
スポーツビジネスの確立と市場の拡大を担います。
- 3 人と人とを繋げ、新しい出会いと活気に溢れる球場を創ります(コミュニティ)
応援する球団や選手、考え方や楽しみ方、
野球への関わり方が異なるたくさんの人たちが集い、
その全ての人ガリスペクトし合い、新しい価値観に出会える場を創造します。
- 4 夢を持ち挑戦し続ける人材を育てます(人材育成)
常に目標を持ち、自ら行動することで社会を幸せにできる人材を育成します。
- 5 地域社会が抱える課題と向き合います(地域貢献)
MIKITO AED PROJECTを始めとした地域貢献活動を行い、
様々な社会課題の解決に取り組みます。

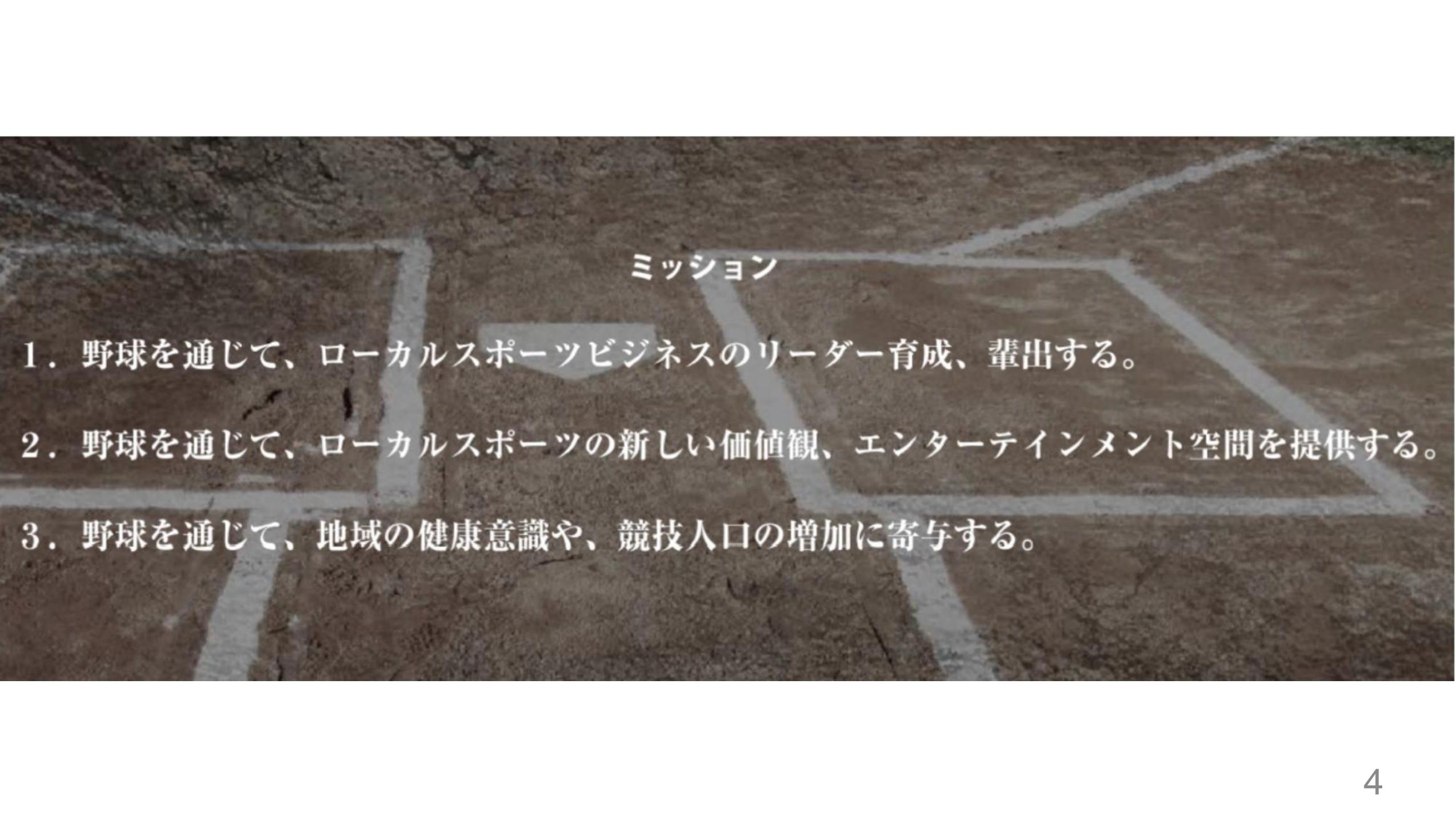
コンセプト

「ふるさとの全力プロ野球」

BCL 憲章

- ・BCリーグは、地域の子供たちを、地域とともに育てることが使命である。
- ・BCリーグは、常に全力のプレーを行うことにより、地域と、地域の子供たちに夢を与える。
- ・BCリーグは、常にフェアプレーを行うことにより、地域と、地域の子供たちに夢を与える。
- ・BCリーグは、野球場の内外を問わず、地域と、地域の子供たちの規範となる。



A photograph of a baseball field with white chalk lines on the brown dirt. The text is overlaid on the field.

ミッション

1. 野球を通じて、ローカルスポーツビジネスのリーダー育成、輩出する。
2. 野球を通じて、ローカルスポーツの新しい価値観、エンターテインメント空間を提供する。
3. 野球を通じて、地域の健康意識や、競技人口の増加に寄与する。

取り組み趣旨

学校と地域における子どものスポーツ機会の充実

子どものスポーツ機会の充実を目指し、学校や地域等において、すべての子どもがスポーツを楽しむことができる環境の整備を図る。そうした取組の結果として、今後10年以内に子どもの体力が昭和60年頃の水準を上回ることができるよう、今後5年間、体力の向上傾向が維持され、確実なものとなることを目標とする。

子どもにとってスポーツは、生涯にわたってたくましく生きるための健康や体力の基礎を培うとともに、公正さと規律を尊ぶ態度や克己心を培うなど人間形成に重要な役割を果たすものである。子どもの体力については、文部科学省が実施している「体力・運動能力調査」によると、平成13年から約10年間にわたり概ね低下傾向に歯止めがかかってきており、子どもの体力向上に関するこれまでの施策は、全体的に効果は出てきているが、体力水準が高かった昭和60年頃と比較すると、基礎的運動能力は依然として低い状況にある。

また、近年、積極的にスポーツをする子どもとそうでない子どもの二極化が顕著に認められることから、運動習慣が身に付いていない子どもに対する支援の充実等は引き続き大きな課題としてある。このため、子どもが積極的にスポーツに取り組む態度を育成することが必要であり、学校の体育に関する活動や地域スポーツを通じて、子どもが十分に体を動かして、スポーツの楽しさや意義・価値を実感することができる環境の整備を図る。

また、こうした取組の結果として、今後10年以内に子どもの体力が昭和60年頃の水準を上回ることができるよう、今後5年間、体力の向上傾向を維持し、確実なものとする。

幼児期における運動の意義

幼児は心身全体を働かせて様々な活動を行うので、心身の様々な側面の発達にとって必要な経験が相互に関連し合い積み重ねられていく。このため、幼児期において、遊びを中心とする身体活動を十分に行うことは、多様な動きを身に付けるだけでなく、心肺機能や骨形成にも寄与するなど、生涯にわたって健康を維持したり、何事にも積極的に取り組む意欲を育んだりするなど、豊かな人生を送るための基盤づくりとなることから、以下のような様々な効果が期待できる。

(1) 体力・運動能力の向上

体力は人間の活動の源であり、健康の維持のほか、意欲や気力といった精神面の充実にも大きくかかわっており、人が生きていくために重要なものである。特に幼児期は、神経機能の発達が著しく、タイミングよく動いたり、力の加減をコントロールしたりするなどの運動を調整する能力が顕著に向上する時期である。この能力は、新しい動きを身に付けるときに重要な働きをする能力であるとともに、周りの状況の的確な判断や予測に基づいて行動する能力を含んでおり、けがや事故を防止することにもつながる。このため、幼児期に運動を調整する能力を高めておくことは、児童期以降の運動機能の基礎を形成するという重要な意味を持っている。

(2) 健康的な体の育成

幼児期に適切な運動をすると、丈夫でバランスのとれた体を育みやすくなる。特に運動習慣を身に付けると、身体の諸機能における発達が促されることにより、生涯にわたる健康的で活動的な生活習慣の形成にも役立つ可能性が高く、肥満や痩身を防ぐ効果もあり、幼児期だけでなく、成人後も生活習慣病になる危険性は低くなると考えられる。また、体調不良を防ぎ、身体的にも精神的にも疲労感を残さない効果があると考えられる。

(3) 意欲的な心の育成

幼児にとって体を動かす遊びなど、思い切り伸び伸びと動くことは、健やかな心の育ちも促す効果がある。また、遊びから得られる成功体験によって育まれる意欲や有能感は、体を活発に動かす機会を増大させるとともに、何事にも意欲的に取り組む態度を養う。

(4) 社会適応力の発達

幼児期には、徐々に多くの友達と群れて遊ぶことができるようになっていく。その中でルールを守り、自己を抑制し、コミュニケーションを取り合いながら、協調する社会性を養うことができる。

(5) 認知的能力の発達

運動を行うときは状況判断から運動の実行まで、脳の多くの領域を使用する。すばやい方向転換などの敏捷な身のこなしや状況判断・予測などの思考判断を要する全身運動は、脳の運動制御機能や知的機能の発達促進に有効であると考えられる。

幼児が自分たちの遊びに合わせてルールを変化させたり、新しい遊び方を創り出したりするなど、遊びを質的に変化させていこうとすることは、豊かな創造力も育むことにもつながる。

(1) 幼児期からの子どもの体力向上方策の推進

【施策目標】

「全国体力・運動能力等調査」等による検証を行いつつ、子どもが積極的に運動遊び等を通じてスポーツに親しむ習慣や意欲を養い、体力の向上を図る。

【今後の具体的施策展開】

- 国及び地方公共団体は、各地域の教育委員会や学校等が行う「全国体力・運動能力等調査」等に基づいたすべての子どもの体力向上に向けた取組において検証改善サイクルの確立を促進する。その際、子どもの体力の重要性に関し、保護者に対する理解促進が有効であることから、保護者が参加する取組を推進する。また、積極的にスポーツを行わない子どもが多くいることから、特にその傾向が中学校段階で顕著となる女子を対象にして、スポーツの楽しさや喜びを味わうことができるようにすることに重点を置く。
- 国は、幼児期における運動指針をもとに実践研究を実施すること等を通じて、全国的に幼児期からの体力向上に向けた取組を促進するための普及啓発を推進する。
- 地方公共団体等においては、幼児期における運動指針を踏まえ、地域の実情に応じて幼児期から体を動かした遊びに取り組む習慣や望ましい生活習慣を身に付けさせるための取組を行うことが期待される。
- 国及び地方公共団体は、地域のスポーツ施設やスポーツ指導者に対する障害者のニーズを把握する。また、障害者スポーツ団体等と連携を図りつつ、地域のスポーツ施設が障害者を受け入れる際に必要な運営上・指導上の留意点に関する手引きや、新しい種目、用品・用具等の開発・実践研究を推進する。

(2) 学校の体育に関する活動の充実

【施策目標】

教員の指導力の向上やスポーツ指導者の活用等による体育・保健体育の授業の充実、運動部活動の活性化等により、学校の教育活動全体を通じて、児童生徒がスポーツの楽しさや喜びを味わえるようにするとともに、体力の向上を図る。

【今後の具体的施策展開】

- 地方公共団体においては、中学校における武道等の必修化に伴い、安全かつ効果的な指導のために、地域の指導者等の積極的な活用等による指導体制の充実や、施設等の整備を図ることが期待される。国においては、武道等の指導の充実を図る取組を支援する。
- 国は、生徒のスポーツに関する多様なニーズに応えた中学校及び高等学校の運動部活動の充実を促進し、生徒の運動部活動への参加機会を充実させるため、複数校による合同実施やシーズン制等による複数種目実施、総合型地域スポーツクラブ（「総合型クラブ」）との連携等運動部活動における先導的な取組を支援する。これらを通じて、男子と比較して加入率が低い女子の運動部活動への参加機会の向上を図る。

(3) 子どもを取り巻く社会のスポーツ環境の充実

【施策目標】

地域社会全体が連携・協働して、総合型クラブをはじめとした地域のスポーツ環境の充実により、子どものスポーツ機会を向上させる。

【今後の具体的施策展開】

- 国は、中学校女子をはじめ積極的にスポーツを行わない子どもに対して魅力ある活動を提供し、子どものスポーツ環境の充実を図るため、総合型クラブやスポーツ少年団をはじめとした地域における子どもの多様なスポーツ機会を充実させるための取組を推進する。
- 国は、旅行先で気軽に多様なスポーツに親しめるスポーツツーリズムを推進し、子どもにとって居住地域だけでは不足しがちなスポーツ機会を向上させる取組を推進する。
- 国は、学校の体育に関する活動と地域スポーツの連携促進の観点から、総合型クラブによる学校へのスポーツ指導者派遣のための体制の整備を推進する。

実施内容

▽ 対象：町内すべての小学校/保育園/中学校 クラス及び各部活動単位で実施

▽ 内容：部活指導、投げ方教室、走り方教室、表現運動（ダンス）等

▽ 回数：保育園、町内全小中学校の各クラスにつき1回～、各部活動年1回～

▽ 参加者：～定員10名/選手、チームトレーナー、チアチーム(B girls)

▽ 時間：授業、部活時間等

実施実績



小学校・幼稚園 訪問実績

東松山市
熊谷市
さいたま市
桶川市
鶴ヶ島市